



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和2年11月2日

第9号



「こんにちは児童会です。今日はあいさつの大切さを
知ってもらうために、あいさつクイズをします」

校長 神田 敏之

これは、児童会の子どもが昼の放送で話した言葉です。いよいよ11月より、今年のあいさつ運動が始まります。それに向けて、あいさつのことに関心を高められるように昼の放送で伝えていきます。今回のクイズは「落ちていたものを拾ってもらったときに言うあいさつはなんでしょう」でした。他の日には、先生役と子ども役になって、劇のようにしている放送もありました。本校のあいさつスローガンは「あいことば」がキーワードになっています。

あ	あいさつは
い	いつでも、どこでも
こ	こころから
と	どんなときも
ば	はっきりと

朝のあいさつ運動は、あおぞらグループ(1～6年生の子どもが入った異学年グループ)で行います。1年間集会などで交流をするグループですが、このように一緒に一つのことに取り組むとかかわりが増え、仲が深まるというねらいもあります。当番になった日には、8時ごろまでに登校しますので、ご協力をお願いします。万が一遅れてしまっても途中から参加しますのでご安心ください。

ご家庭でのあいさつはいかがですか。「おはよう」「おやすみ」「行ってきます」「行ってらっしゃい」「ただいま」「お帰り」「ありがとう」など家族の間でも交わされていますか。子どもたちは自分で考え、行動するように学校で学んでいます。そこで、家で進んであいさつする姿がありましたら、ぜひ受け止めてあいさつを返してほしいと思います。また、大人の方が率先してあいさつの声をお子さんにかけていただくこともお願いします。始めは意識をしないとできないことも続けることによって、自然な形でできるようになると考えています。

リーダー・イン・ミーの学習で「あいさつリーダーになる」という目標を立てている子どもが何人もいます。その子どもの目標や振り返りの一部を紹介します。

「わたしはいろんな人にあいさつができるリーダーを目指します」

「『家族にあいさつする』 いつもしているあいさつをもっとはっきりと言ったり何かしてもらったときにありがとうと言ったりしました」

「校長先生に『おはようございます』と言って、おじぎができた。

校長先生もうれしそうにあいさつを返してくれた」

進んであいさつをする子どもたち、あいさつがあふれる朝比奈の町にこれからなっていくことを楽しみにしています。